

保健体育科（科目保健）学習指導案

1 単元名 （3）生涯を通じる健康 （ア）生涯の各段階における健康 ①結婚生活と健康

2 単元について

本単元では、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることに理解できるようにする。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響、結婚生活を健康に過ごすには自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。

3 生徒の実態

（1）知識及び技能

（掲載省略）

（2）思考力、判断力、表現力等

（掲載省略）

（3）学びに向かう力、人間性等

（掲載省略）

【生徒事前アンケート結果】 事後アンケートと共に後に掲載

【保護者アンケート結果】 回答数 12／30 人

中学校で「性に関する指導」が行われていたかご存じですか	はい 91.7% いいえ 8.3%
高校で「性に関する指導」を実施することに対してどのようにお考えですか	必要である 100%
ご家庭で性に関する知識や情報を話したり共有することはありますか	はい 58.3% いいえ 33.3% 具体的には話さないが、ふわっと会話に入れる 8.3%
学校ではどのような項目の教育が必要・やってほしいと思いますか	避妊 91.9% 人工妊娠中絶手術 66.7% セクシャルハラスメント 58.3% 不妊・流産 50% 出産費用 41.7% 以下略

※学校教育においての「性に関する指導」に対し、非常に高い期待が見受けられる。

4 教師の指導観

(1) 知識及び技能

本単元では、「学習の苦手な生徒や、自分の考えを表現することが苦手な生徒」に対して「理解力・記憶力・思考力・判断力を深める」ことに重点を置く。SOSを求める力の低い生徒もあり、その中には家庭環境に事情がある場合も見られる。性に関する逸脱行動・望まぬ妊娠等を自分事として真剣にとらえられる構成にし、知識の定着を目指す。

(2) 思考力、判断力、表現力等

講義を聞いて理解する力、自分で調べる力、人が調べたことを聞く力、得た知識をすべて使って考える力を培うため、スモールステップからのジグソー法、クロストークを充実させる。

(3) 学びに向かう力、人間性等

文部科学省が推進している生命（いのち）の安全教育も踏まえ、体系的な指導により、いざというときに生徒たちが建設的に考えることができるとともに、周囲の同様な困難を抱える友人に寄り添い、支援者としても力を尽くすことができるよう、生徒が成長できる教育環境を作る。

5 単元の目標

- (1) 結婚生活と健康について、心身の発達や健康の保持増進について理解することができるようにする。
＜知識及び技能＞
- (2) 結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理し、それらを説明することができるようにする。
＜思考力、判断力、表現力等＞
- (3) 結婚生活と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。
＜学びに向かう力、人間性等＞

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことについて、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、また、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。 ②結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康調査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。	①結婚生活と健康について、資料等で調べたことを基に、課題を見つたり、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。 ②地域の保健・医療機関の活用について、学習したことを、個人及び社会生活と比較、分析、計画を立て、また、筋道を立ててそれらを説明している。	①結婚生活と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている

③家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解したことを言ったり、書いたりしている。		
---	--	--

7 指導と評価の計画（全5時間）

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
事前アンケート	・年1度、保健環境部行事として性に関する指導の外部講師による講演会（産婦人科医）も行っているため、現在の知識や選択意識がどの程度か確認する。 ・自分未来年表（選択式）1回目				
1	I ねらい ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにする。 II 学習活動 1 これまでの学習の確認をする。 2 本時の課題を確認する。 3 出産・陣痛について学ぶ。 4 二人の女性の出産手記を基に違いを考える。 5 避妊についての正しい知識を得る。 主たる学習内容（知識） ・受精、妊娠、出産にはそれに伴う健康課題があること。 ・健康課題には年齢や生活習慣などが関わること。 6 本時の学習の確認・振り返り・まとめ。	①			観察・ワークシート
2	I ねらい ・結婚生活を健康に過ごすには、様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて理解できるようにする。 ・課題を見つけたり、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明できるようにする。 II 学習活動 1 前時の学習を振り返る。 2 本時の課題を確認する。 3 保健・医療サービス等について学ぶ。 主たる学習内容（知識） ・結婚生活を健康に過ごすには、様々な保健・医療サービスが必要であること。 4 エキスパート活動を行う。 5 情報交換をする。	②			観察・ワークシート
			①		観察・ワークシート

	6 本時の学習の確認・振り返り・まとめ。				
3	I ねらい ・人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解できるようにする。 II 学習活動 1 前時の学習を振り返る。 2 本時の課題を確認する。 3 人工妊娠中絶手術について学ぶ。 主たる学習内容（知識） ・人工妊娠中絶には心身に影響があること。 4 「赤ちゃんポスト」についての問いかけ。 5 本時の学習の確認・振り返り・まとめ。	③			観察・ワークシート
④	I ねらい ・今まで学んできた知識を活用し、社会的問題についての改善策を考えることができるようにする。 II 学習活動 1 前時の学習を振り返る。 2 赤ちゃんポストについて学ぶ。 主たる学習内容（知識） ・結婚生活を健康に過ごすには、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援が必要であること。 3 本時の課題を確認する。 4 自分の考えを深める。 5 クロストークを行う。 6 本時の学習の確認・振り返り・まとめ。		②		観察・ワークシート
5	I ねらい ・学んできたことを生かし、自身の人生計画をたてることができるようにする。 II 学習活動 1 前時の学習を振り返る。 2 本時の課題を確認する。 3 様々な健康課題について学ぶ。 主たる学習内容（知識） ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感が必要で、家族計画には意義があること。 4 マッピングの完成。 5 自分未来年表2回目の作成。 6 事後アンケート・授業のまとめ。			①	観察・ワークシート 事後アンケート

8 前時におけるエキスパート活動（2／5時）

エキスパート 1	エキスパート 2	エキスパート 3
母子保健サービスについて	不妊・流産について	社会的養護について
問 1 母子手帳はどこで、何のためにもらうか 問 2 妊娠健康診査は誰が受けられるか 問 3 妊娠健康診査はどんなものが受けられるか。またいくらか 問 4 出産育児一時金とはどんなときにもらえて、いくらか 問 5 実際に出産にかかるお金はどれくらいで、どの病院でも同じか、健康保険は使えるか 問 6 帝王切開（おなかを切る出産）は健康保険は使えるか 〈予想される反応〉 お金が足りない。もしくは出産以外に充てることを狙う。思っていたより（事前アンケート結果）お金もらえる。	問 1 不妊とはどういう状態か 問 2 避妊をしない性交渉の妊娠の確率はどれくらいか 問 3 どのくらいのカップルが不妊に悩むといわれているか 問 4 流産と死産の違いは何か 問 5 各妊娠期間の流産・死産の確率を調べよ ・ 9 週まで（妊娠 2 か月） ・ 10～40 週まで（妊娠 2～10 か月） 問 6 繰り返し流産してしまう不妊について、調べたことを箇条書きで書け 〈予想される反応〉 不妊を耳にしたことはあっても身近に感じられない。自分とは関係ないと思う。	問 1 社会的養護（養育）とは 問 2 養子縁組という制度は何か 問 3 里親という制度は何か、養子縁組との違いはなにか 問 4 年間人工妊娠中絶手術件数 問 5 年間出生数 問 6 0 歳児の死体遺棄事件数 〈予想される反応〉 かわいそうな子がいる。そんなに件数は多くないのではないか。

9 本時の指導案（4／5時）

（1）ねらい

- ・ 今まで学んできた知識を活用し、社会的問題についての改善策を考えることができるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

（2）準備・・・ワークシート、タブレット、教科書

(3) 展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点 (○指導 ◆評価規準)
導入 15分	1 前時までの振り返りをする マッピングを確認する。 前時に受けた質問の回答を聞く。 2 赤ちゃんポスト講義 熊本県慈恵病院の取り組み「このとりのゆりかご」の概略・メリット・デメリット (※資料①参照) の講義を聞く。 主たる学習内容 (知識) ・結婚生活を健康に過ごすには、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援が必要であること。	○前回までに、妊娠、出産、避妊、人工妊娠中絶手術、母子保健サービス、不妊・流産、社会的養護について学んでいるので確認をする。 ○エキスパート・ジグソー活動を行ったことの確認をする。 ○前時の最後に伝えた赤ちゃんポスト「このとりのゆりかご」についての講義を行う T1 進行、マッピング補助 T2 前時振り返り、質問回答、赤ちゃんポスト講義
展開 30分	3 本時の課題を確認する 【学習課題】 学んできた知識を活用し、赤ちゃんポストという社会的なテーマについて改善策を考えよう。 4 自分の考えを深める Q1 赤ちゃんポストに賛成か反対か理由も考えよ (フォーム入力) 〈予想される反応〉 ・賛成→命が助かるのが一番だから ・反対→ほかの制度をちゃんと知っていれば使わずに済むから Q2 賛成なら改善案、反対なら代替案を考えよ ・わからない・決められない→どちらについても考えさせる。(そのうえで決めるのも構わない。) プリントに書いてからフォームに入力する。	T2 進行 T1 机間巡視、助言 ○今回は、前回までの調べ学習をメインに、言語化・文章化・話し合いに重きを置く。時間はこちらで計測する。 ○すべての意見を否定することなく、様々な考え・視点があることを伝える。 ○本時で学んだことを踏まえて、さらに課題の原因や背景について考えるよう指示をする。 T2 進行、机間巡視、助言 T1 フォームで賛成・反対を班分けする。 ○机間指導の中で、賛成・反対が決められない場合、メリット・デメリットで気になるところを掘り下げるよう助言する。 ○どの意見も間違いはなく、大人でも難しい問題であるため、考える経験が大切であることを伝える。

	5 クロストーク (1) 机を移動（その場で班決め） (2) 同じ意見の者同士で分かれて、それぞれで賛成反対の理由および改善案・代替案を話し合う 例「私は～理由で賛成です。改善案は～」を共有しあう。 (3) チームごとの改善案・代替案を考える。 (4) 班ごとにフォームに入力・スプレッドシートで発表する。	T1 机移動させる。机間巡視、助言 T2 進行・机間巡視・助言 ◆今まで学んできた知識を活用し、社会的問題についての改善策を考えている。 (観察・ワークシート)【思考・判断・表現】 △「努力を要する」状況と判断された生徒への手立て ・これまで学習したことから、改善策として考えられるものを挙げ、選択させる。 ◎「十分満足できる」状況（A）と判断される生徒の具体的な姿 ・学びを生かした具体的な改善策を考え、周囲を納得させることができる。 T1 進行 ○発表の苦手な生徒も自己表現できるように、板書発表の代わりにスプレッドシートでの発表とする。(記名発表) ○あくまで思考・言語化に特化したいので、賛成、反対の偏りは可とする。
ま と め 5 分	6 本時のまとめを行う ・現状の改善案である「内密出産」にふれる。 ・本時の学習を振り返り、個人で本時の課題について考えを深め、感想と質問を記入する。	T1 進行 T2 まとめ、内密出産の投げかけ ○授業前の自分の認識から、本時に学んだことを踏まえ新しい気づきや疑問などを記入するよう指導する。 ○「内密出産」に対しての興味関心を沸かせて、さらに知りたいという意欲及び問題点の気づきにつなげる。

〈次時において〉

本時まで学んだことを踏まえて、事後アンケートに答える。

さらに他側面からの学びとして、LGBTQ,セクシャルハラスメントについて学ぶ。(マッピング完成)

以上を踏まえて、自分の今後の計画年表を記入し、思考、表現を深める。

最後に事前アンケートと同様のアンケートを実施し、自身の理解度・考えの変化を確認する。

資料① 赤ちゃんポストメリットデメリット（パワーポイント資料）

メリット	デメリット
・赤ちゃんと母親の命が救える。 ・預けた後、赤ちゃんの安全が守られる。 ・預けた親が犯罪にならない。 ・実際に救われた命がたくさんある。170 件。(17 年間で) ・匿名でも預けられるため、人に話せないと悩む母親が頼れる。 ・病院のスタッフと保護者が話せれば母子ともに様々な支援につなげられる。 (実親が育てられるように仲介したり、養子縁組へつなげるなど) ・赤ちゃんへのメッセージ置き場が併設されている。	・赤ちゃんポストに預ければいいと思い、非常に危険な未検診、孤立出産してしまう。(利用者の 6 割) ・赤ちゃんポストを目指して、母子ともに生命危機レベルの治療が必要な状態で、遠くから非常に無理をして来てしまう。 ・利用者が匿名性を重視する場合、子供に将来出自を伝えられない／ 真実告知が難しい／子供を傷つける不安。 ・母親が匿名性を重視しすぎて、治療が必要な状態の母親が、そのままいなくなってしまうケースがある。 ・赤ちゃんポストにかかわっていれば、犯罪にならないととらえて、利用方法を理解せずきちんと中に入れず、外に置かれて、赤ちゃんが危険にさらされたケースがあった。 ・新生児対象なのに幼児が預けられてしまうケースがあった。 ・匿名性があるため、二重戸籍の可能性はある。 ・病院の負担が大きい（昨年度 5000 万円の負担）

参考資料：「このとりのゆりかご」第 6 期検証報告書